

東北大学 MCS コース 2017 年度受講生募集

Master of Clinical Science (MCS)コースを4月より開講します。臨床研究、臨床試験・治験を遂行する上で必要となる知識と技術の習得を目的とします。

講義課程と実習課程で構成されていますが、講義課程のみの受講も可能です。知識・技術を学習し、習得すると各課程の修了証を取得できます。修了者は、所定の条件を満たすと一般社団法人「薬剤師認定制度認証機構」の認証を得た認定制度による MCS 認定が授与されます。

受講の申し込みは下記メールアドレスにお願いします（アドレスのお間違いのないよう、ご注意ください）。

受講対象者:

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、保健師、栄養士など（医歯薬学・保健学・栄養学・健康科学および他の健康関連学部の卒業者）および医歯薬系大学、専門学校在籍者、製薬・SMO・CRO 企業派遣者など、MCS コース運営委員が認めた者

講義室、講義内容・日程の詳細、変更等:

講義は東北大学大学院医学系研究科臨床中講堂において、4月13日から毎週木曜日、18時から1.5時間の講義を16回行ないます(下記参照,)。講義室、講義内容・日程の詳細、変更等など、詳細は随時ホームページをご覧ください。

受講の申し込み:

参加ご希望の方は2017年4月7日（金）までに平澤（下記）までEメールでご連絡ください。聴講のみであれば申し込みは不要です。

連絡先:

東北大学大学院薬学研究科 生活習慣病治療薬学分野 担当 平澤

ホームページ: <http://www.pharm.tohoku.ac.jp/mcs/>

メール: hirasawa@m.tohoku.ac.jp

講義内容

| 開催日 | 講師 | 講演タイトル |
|------------|------|-------------------------------------|
| 第1回 4月13日 | 平澤典保 | 病態モデルと薬効評価 |
| 第2回 4月20日 | 土井隆行 | 創薬研究に対する有機化学の役割 |
| 第3回 4月27日 | 佐藤 博 | 腎臓病に対する薬の使い方 |
| 第4回 5月11日 | 段 孝 | 異分野融合型学際研究に基づく創薬 |
| 第5回 5月18日 | 池田浩治 | 臨床開発概論 |
| 第6回 5月25日 | 谷内一彦 | 日本に於ける臨床試験の当面の問題点 - I R B の役割 |
| 第7回 6月1日 | 松井直子 | 臨床研究・治験の支援-CRC の役割 |
| 第8回 6月8日 | 井上 彰 | 成功する臨床試験プロトコール作成のコツ |
| 第9回 6月15日 | 菊谷昌浩 | コホート研究の実践と evidence |
| 第10回 6月22日 | 山口浩明 | 薬剤師主導の臨床研究 |
| 第11回 6月29日 | 加藤幸成 | 次世代抗体医薬品の開発と臨床応用 |
| 第12回 7月6日 | 中村亮介 | 医薬品の重篤副作用と発症関連バイオマーカー |
| 第13回 7月13日 | 山口拓洋 | 医学研究におけるエビデンスとその解釈 |
| 第14回 7月20日 | 古本祥三 | 臨床使用を目的とした PET 薬剤開発 |
| 第15回 7月27日 | 遠藤史郎 | 薬剤耐性菌をめぐる最近の話題 ～抗菌薬はなぜ効かなくなるのか?～ |
| 第16回 8月3日 | 高山 真 | 漢方薬のエビデンスを学ぶ |

講義室： 東北大学大学院医学系研究科 臨床講義棟 1階 臨床小講堂
(4/27のみ医学部1号館1階第2講義室)

時間： 毎週木曜日 18:00-19:30

なお、各回の講義に参加された薬剤師の方には、日病薬病院薬学認定薬剤師制度のシール1単位、あるいは日本薬剤師研修センター研修受講シール1単位を認定する予定です。